

神奈川県立中原支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和7年度 中原支援学校 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和7年6月11日（水） 午前9時40分～午前11時30分
開催場所	本校 支援ルーム
出席者	委員：9名（本校校長1名含む） 事務局：7名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会運営計画書 ・学校評価報告書（令和6年度：学校評価） ・学校評価報告書（令和7年度：学校目標）
議事録	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会挨拶（副校長） 2 校長挨拶・学校紹介 3 自己紹介 4 委員の委嘱・役職選出 5 今年度の学校運営協議会について（副校長） 6 学校見学 7 今年度の本校の取組について（副校長） 8 協議 <ul style="list-style-type: none"> ○新しいことを始める際の課題はないか？（スクラップアンドビルド） ⇒神奈川県働き方改革に通ずる。令和6年度からは欠席連絡システムを導入し、今年度から通話記録を開始した。年度中にオフィス改善の一環として什器の入れ替えを順次予定している。このことを契機とし、働き方改革を推進していきたい。 ○生徒の一生の記憶に残るような授業を実践して欲しい（土器を発掘する等）、楽しい授業中庭の果実の収穫等）、思い出深い授業の実践を希望する。 ○肢体不自由教育部門（訪問の方）の通学籍へのステップアップ（移行）はあるのか？ ⇒全体的に医療的ケアの内容が重度化・高度化しているケースが多い。学校の中で安全に医療的ケアを行えるように手続き準備が必要になってきた。それぞれの状態に応じて学びの場の変更についての相談にのり一緒に考えて検討していく。高等部に関しては、入学者選抜時に知的障害教育部門・肢体不自由教育部門・訪問と3つに分かれている。 ○肢体不自由教育部門高等部卒業生の進路状況はどうか？また知的障害教育部門の就労実績はどうか？ ⇒肢体不自由部門高等部卒業後の進路状況については、その居住地により状況が異なるが、かなり厳しい地域もある。ひとつの事業所に週5日の通所（通勤）ではなく、複数の事業所に通うケースもある。就労実績については、本日具体的な数字が今すぐに出せず申し訳ないが、昨年度は分教室で5名（企業、特例子会社等）就労している。 ○児童生徒が転ばないようにするのではなく、転んだらどう起き上がるのかを学ぶことが重要だと考えている。AとBどちらにするかを選ぶような場面を大切にしたい。学校開放も有効に活用していきたい。 ○メインティーチャーよりもサブティーチャーの果たす役割が大事と考える。児童・生徒は一人ひとり実態が異なり、それぞれに応じた自己決定や意思決定の支援が必要となる。そのため、サブティーチャーによる個別のフォローアップは、学びの質を支える上で非常に大きな意味を持つ。また、メインティーチャーが若手教員の

	<p>場合、サブティーチャーとしてベテラン教員が支援に入ること、児童・生徒への関わりだけでなく、若手教員の人材育成にもつながる。こうした観点から、サブティーチャーの役割を積極的に活用していくことが望ましいのではないか。</p> <p>○ICTの活用は着実に進んでいると感じている。これからは、ハード面の整備以上にソフト面の整備、さらにはコンテンツの充実が重要になってくるだろう。子どもたちにとってICTが「嫌いなもの」とならないよう願っている。</p> <p>○進路指導で保護者が望んでいるのは、通勤経路や立地といった「中間情報」であることが、自身の経験からも多いと感じている。保護者の要望や、学校側が発信したい情報を蓄積・共有できる仕組みがあると望ましい。</p> <p>○地域との連携については、地理的に学校周辺に限定するのではなく、広義の「地域」として捉え直し関係者の幅を広げていく時期に来ているのではないかと。</p> <p>○先生方には心と時間の余裕が必要である。何をやめるかを決めることも重要である。業務に優先順位があるのであれば、当然ながら劣後順位も存在するはずである。</p> <p>○校内各フロアに階数表示があると利用者にとって分かりやすく、利便性が高まると考える。</p> <p>○チーム「中養」は、ほかの項目と統一する観点からチーム「なかはら」へ変更が適当ではないかと。</p> <p>○校内設備の印象が良い。中学校の支援級に、身体障害1種1級の生徒がいる学校である。全介助が必要なケースもあり、支援員が不足している状況である。</p> <p>○体育祭での交流続けてきたが、交流を振り返り参加の仕方を考えてきた。今年はクラス対抗リレーで交流をした。校舎内の利用エリア等、両高校の生徒同士の行き来ができる環境に少しずつしてきた。現在、何も問題は起きていない。問題が起きたとしてもそこをスタートにお互いが学ぶべきこともあると思う。今の状況はお互いに良い方向に向かっていると感じている。9月には文化祭（羽月祭）もあり、活動を楽しみにしている。（はにつびーの登場も期待している）</p> <p>9 学校運営方針の承認 委員の賛成多数により承認</p> <p>10 閉会挨拶(校長)</p>
--	---